

47. 住居の種類と住宅の所有関係別普通世帯数

住宅の種類と住宅の所有関係を昭和35年国勢調査によってみると、普通世帯（第12表参照）469千世帯のうち大部分の世帯が住宅に居住し、非住宅に居住する世帯は、昭和25年には約1万世帯を数えたが、昭和35年には442世帯と減少した。住宅の所有関係では、住宅居住世帯の76%が持家、借家17%、給与住宅4%、間借3%となっている。

また、昭和30～35年の5か年の変化をみると、給与住宅の世帯の増加率が44%で最も高く、ついで借家40%、持家9%の増加率であって、間借世帯は17%の減少である。

つぎに、1人当たり畳数も昭和25年3.5畳、30年3.7畳、35年4.1畳と増加している。

年, 地域	総 数	住居の種類別普通世帯数						非住宅
		住宅の所有関係					間 借	
		計	持 家	借 家	給与住宅	間 借		
昭和 25 年	407 609	396 752	297 817	63 379	12 768	22 788	10 857	
30	414 710	412 111	326 577	58 296	12 838	14 400	2 599	
35	469 791	469 349	357 111	81 832	18 426	11 930	442	
市 部	270 930	270 613	181 774	64 871	14 542	9 426	317	
郡 部	198 861	198 736	175 337	16 961	3 884	2 554	125	
人口集中地区	148 841	148 650	86 153	45 931	9 557	7 005	191	
		住宅の所有関係割合 (%)					畳 数	
		計	持 家	借 家	給与住宅	間 借	計	1人当り
昭和 25 年	100.0	75.3	16.0	3.1	5.6	7 354 741	3.5	
30	100.0	79.2	14.2	3.1	3.5	7 846 712	3.7	
35	100.0	76.1	17.4	3.9	2.6	9 103 602	4.1	
市 部	57.7	33.7	13.8	3.1	2.0	4 611 826	3.8	
郡 部	42.3	37.4	3.6	0.8	0.6	4 491 775	4.4	
人口集中地区	31.7	18.4	9.8	2.0	1.5	2 194 837	3.7	